



平成 13 年 11 月 29 日

川越市長 舟橋 功一 様

社団法人 日本建築家協会 関東甲信越支部
支部長 服 部 範 二
保存問題委員会委員長 篠 田 義 男
JIA 埼玉 代 表 原 凱 凱

旧川越織物市場建物の移築保存に関する検討要望書

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

貴市におかれましては日頃から市民主体の自治を目指しておられることに深い敬意を表します。また、本会と、会員の活動にご理解を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて標記の建物につきまして、貴市では現地保存を前提としてデベロッパーとの折衝を重ねてこられ、結果として条件が折り合わず断念された経緯は聞き及んでおります。そのご努力に対しては敬意を表する次第ですが、ここでこの建物の保存活用に対するご意思を、全て断念されることは貴市のみならず我が国の歴史文化を後世に継承する意味において、大きな損失になることを懸念致します。

過日、現況を概観させていただきましたが、懐かしさを醸し出す木造の建物と、それが囲い込む広場のヒューマンな空間スケールは、大八車が忙しく行き交う往時の賑わいを彷彿とさせるものがありました。また、建物の柱、梁等の主要構造部が頑強に造られておりますので、現地で適切に保存・活用されれば貴市の観光資源として大変な価値を創出するであろうことを確信致しました。

従来、保存の対象は伝統的歴史建造物や美術、芸術的価値の高いものに限定してきた嫌いがありましたが、最近、文化庁では近代化遺産として近代産業の遺構保存や、生活そのものも包含する保存方法（動態保存）など、その対象と方法について幅広く捉えるようになっておりますので、こうした見地からは是非検討される事が必要と思われれます。

この建物は、川越近代化の重要施設として市立博物館に常設展示され、その産業史的価値は高く評価されています。更に、我が国で唯一現存する遺構として、その希少価値性に於いても正当に評価されて然るべきものと考えられます。

したがって、あくまで現地保存・活用が理想ですが、それが困難な状況であれば、改善の策として、積極的に移築保存を検討していただけないものでしょうか。既述したように構造体は解体・移築に充分堪えられるものと確信しております。

また、移築先を検討される際は、現在の建物と広場の空間間隔を忠実に再現することが最も重要であることと存じ、これを可能とするスケールの用地を選定されるようご配慮戴きたく、重ねてお願い申し上げます。

微力ながら、私共も出来る限りの努力と支援をさせて戴く所存であることを申し添えます。

敬具